



採用案内 2024

ひと、くらし、
みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

四国厚生支局

ひと、くらし、
みらいのために

四国厚生支局長 榎本 芳人

みなさんは、厚生労働省のキャッチフレーズをご存じでしょうか。それは、表題に掲げた「ひと、くらし、みらいのために」です。これは、現在だけでなく未来にわたって、人や暮らしを守る役割を担っているということを簡潔に表現したものです。すなわち、私たち厚生労働省の職員は、現在だけでなく未来にわたって、人や暮らしを守るために働いているのです。

それでは、現在だけでなく未来にわたって、人や暮らしを守るためには、どのようなことが必要でしょうか。人が生きている間には、様々なことがあります。もしかしたら、病院や診療所といった医療機関にかかることがあるかもしれません。その時のために医療保険という制度があります。また、年金をもらうことがあるかもしれません。そのためには、年金制度が安定的に運営される必要があります。さらには、年齢を重ねて、介護を受けることが必要になるかもしれません。それに備えて、住み慣れた地域で住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが実現される必要があります。

四国厚生支局の職員は、健康や医療、年金、地域包括ケアといった業務を担当しています。それはまさに、人や暮らしを守ることなのです。日本は少子高齢化や人口減少といった課題を抱えており、人や暮らしを守ることはますます重要なことになってきています。

みなさんも、是非、私たちと一緒に、人や暮らしを守るために働きませんか。

四国厚生支局に求められる人物像

四国厚生支局は、四国管内の医療・介護・保険・年金等の厚生行政の一端を担っており、とりわけ国民の生活に密接する大変重要な分野を所掌しています。また、当支局の基本理念でもある「国民一人ひとりが健康で安心して充実した生活を送ることができるよう、四国地方の実情を踏まえつつ、国の社会保障政策を着実に推進すること」を通じて、将来にわたる国民生活の質の向上と社会経済の発展に寄与することを使命としています。その使命のために、国民が健康で安心して生活が送れるよう、自治体等の関係者との情報共有を図りながら必要な支援を行っていきたく考えています。

このように、当支局で実施する業務は国民生活に直結し、益々重要度が増しているため、業務に取り組むうえで必要な構えは以下と考えています。

まず、国民にとって非常に重要な役割を担っているという意識を常に持つことです。当支局で実施している業務は、業務内容により担当部署は分かれています。上述のとおり医療福祉分野や保険年金分野などの国民の生活に直結する業務を行っているためです。

次に、常に問題意識をもって業務に取り組むことです。当たり前業務を行っては何も変わらないので、改善や効率化への意識を常に持ってほしいと考えています。

さらに、組織の課室等のチームで業務を行うので、何においてもコミュニケーションをとることです。業務に慣れてくると、こうした方がいいのではなどの意見が出てくると思います。そうした提言は上司に相談することです。改善への取組を意識することにより業務を効率的に行うことができ、更なるモチベーションにつながると思います。



総務課長
後藤 福司



上述したことは、厚生労働省職員の心構えとして必要なことと考えていますが、当支局では、厚生労働省の主要施策である「安心できる暮らしと包摂社会の実現」の取組として、四国四県において地域包括ケアシステムをはじめとする地域共生社会を実現するべく、日々自治体等の関係者との意見交換や情報共有を行うことにより、その実現に向けた必要な支援を行うべく日々業務に勤しんでいます。このため、そうした、四国を元気づけたい、活気あふれる地域にしていく意欲に満ちた人物を求めています。

最後に、常に国民目線で業務を行うことにより、その地域なりの問題点が見えてくると思いますので、我々と一緒に解決に導けるように頑張ってください。

就職活動中の皆さんへ

四国厚生支局は、ワークライフバランスを重視した、とても働きやすい職場です。また、各部署の業務においても、チームワークを大事にし、横のつながりも大事にしているため、皆で問題点を共有し、解決していくことを基本としています。もちろん、個の意見も汲み取り反映できるものは実行していくので、風通しがよく意見あえる職場と自負しております。是非、当支局をご検討ください。よろしくお祈りします。

職員の日【総務部門】

あなたが担当している仕事はなんですか？

私は各種事業実施に伴う経費や旅費、購入した物品の支払いや備品などの管理といった会計関係の業務を主にしています。総務課内の庶務係・厚生係など他の係や麻薬取締部の総務部門などと連携しながら行う業務も多いです。

仕事に必要な知識はどのように学んでますか？

会計事務に関する研修を受講したり、経験豊富な上司に相談しながら日々の業務の中で知識を身につけています。過去に事例が無いときは他の地方厚生局の経理係に連絡を取ることもあり、横の繋がりも大切だと感じます。

仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

複数の仕事を同時並行で進める必要があるため、業務のあらましを掴んでから取り掛かるように心がけています。また、ほぼ毎日行う慣れた業務でも金額や内容に誤りが無いか必ずダブルチェックを行っています。



総務課 経理第一係
大西 優衣 (令和4年度 採用)

1 8:30 出勤

電車や徒歩で通勤する職員も多いですが、私は毎日自転車通勤しています。



2 9:30 契約業務

職員が日々使用する消耗品等は会計担当者が発注から支払まで行っています。



3 12:00 昼食

お昼はコンビニやお弁当も多いですが、仲のいい先輩と職場の近くで食べることもあります。

4 14:00 上司に相談



業務で行き詰まったとき、上司は忙しくても必ず話を聞いてくれるため相談がしやすいです。



5 17:15 退庁

3月や4月の繁忙期には残業もありますが、業務に慣れてくれば定時で帰れます。今日は自転車で商店街に買い物に行って帰ります^^

職員の日【年金管理部門】

あなたが担当している仕事はなんですか？

私は市町村が行う国民年金業務に対する交付金に関する業務を担当しています。具体的には、市町村から提出される決算報告書を確認し、交付金の対象となる事務が適正に執行されているかの審査等を行っています。

仕事に必要な知識はどのように学んでますか？

過去の資料の確認や、年金法令に関する書籍等を読むことで業務に必要な知識を学んでいます。また、業務の中で分からないことがあれば周りの方に親切に教えていただけるので、知識を身に着けやすい環境だと思います。

仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

一番心掛けているのはミスをしないことです。交付金の金額が1円間違っているだけでも、重大な事務処理誤りとなるので、ダブルチェックを行う等して、ミスが起こらないよう慎重に業務を進めています。



年金管理課 監理係
辻岡 悠人 (令和2年度 採用)

1 8:30 出勤



おはようございます！
毎日自転車で出勤しています。
今日も一日頑張ります！

2 9:30 決算書審査



市町村から届いた決算書を確認し、内容に誤りがないか審査を行います。

3 12:00 昼食



待ちに待ったランチタイム！
同期と一緒にご飯を食べます。
貴重なリラックスタイムです♪

4 14:00 課内会議

今日は週に1回の課内会議です。
各業務の進捗状況や対応方針などを共有します。

5 15:00 市町村照会電話対応



市町村から交付金に関する問い合わせがあったので、資料等を確認して、迅速かつ正確に回答します。

6 17:15 退庁

繁忙期には残業も行いますが、基本的には定時で退庁します。
最近太り気味なので、今日はジムに行こうかな！

職員の一日【健康福祉部門】

あなたが担当している仕事はなんですか？

補助金関係の業務や社会福祉の増進に努めておられる民生委員の委嘱等に関わる業務を主に担当しております。その他にも、各種講習会の届出の受理に関する業務を担当しております。

仕事に必要な知識はどのように学んでいますか？

上司や先輩に相談するようにしています。多くの経験を積み、幅広い知識を持つ上司や先輩に相談することで、自分が仕事を進めていく上での重要なポイントが理解でき、その中で知識を吸収していくことができます。

仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

確認を何度も行うということです。補助金関係の業務では、1桁数を間違えることが大きなミスに繋がってしまいます。そのため、値がずれることのないように、数の見直しや計算といった確認作業を何度も行うようにしています。



健康福祉課 医療安全調整係
伴野 佑記 (令和6年度 採用)



1 8:20 出勤

おはようございます！！
エレベーターでオフィスへ！
気合い入れて頑張ります。

2 8:35 メール確認

前日に送られてきたメールを確認しています。必要があれば返信をしています。
さて、本日は何件メールを受信しているでしょうか？



3 9:00 補助金決裁準備

四国4県から届いた申請に誤りがないか審査し、金額の登録作業や交付決定の準備を行っています。



4 12:00 昼食

昼食の時間です！
仕事を忘れて楽しみます！！
趣味の話をする事が多いです！

5 13:00 問い合わせ対応



県の担当者の方から補助金に関して問い合わせがありました。
上司や先輩に相談し、対応しています。

12:00

13:00

5

16:00

6 16:00 講習会届出審査

法人から講習会実施についての届出を受け、
開催要綱などを審査しています。

17:15

7

7 17:15 退庁

定時になりました！
楽しみにしていた映画観に行ってきます！！

職員の一日【健康福祉部門】

あなたが担当している仕事はなんですか？

私は、認知症サポーター養成講座のセミナーの企画・運営や、自治体が高齢者福祉に関する事業を実施する際の補助金の審査・執行業務を担当しています。その他、課内の出張手続きやホームページの更新等も行っています。

仕事に必要な知識はどのように学んでいますか？

法令・制度や業務内容についてわからないことがあれば、その都度先輩方が丁寧に教えてくださいます。手が空いた時には過去の研修動画やマニュアル等を見て学んでいます。

仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

わからないことをわからないままにしないことです。まずは自分で調べて、それでも解決しなければ先輩方に質問することで業務を進める上でのミスをなくすことができ、また、自分自身の知識も増やしていけると考えています。



地域包括ケア推進課 医療介護連携推進係
高市 明彩 (令和6年度 採用)

1 8:30 出勤

おはようございます！
徒歩10分圏内に住んでいるため、
毎朝ゆっくり朝食を食べて出勤します。



8:30

1

2 10:00 打合せ



今日は補助金の担当者同士での打合せです。本省や他の厚生局と情報共有をしながら業務を進めていきます。

10:00

2

4 14:00 疑義照会対応

管内県から補助金に関する問い合わせがありました。
先輩方にも相談しながら、迅速に回答できるよう日々勉強中です。

12:00

3

13:00

14:00

4

3 12:00 昼食

課内の先輩と一緒に弁当を食べます。
しっかりエネルギー補給をして、午後からも頑張ります！



17:15

5

5 17:15 退庁

基本的に定時で退庁します。
新しくできた高松オルネで買い物をして帰ります。今日一日お疲れ様でした。



職員の日【医療指導部門】

あなたが担当している仕事はなんですか？

私は現在、厚生労働省保険局医療課等から送付される通知や事務連絡を各県事務所等に送付し、ホームページに掲載する仕事などを担当しています。迅速に周知することを心がけています。

仕事に必要な知識はどのように学んでいますか？

マニュアルを見たり、先輩に質問することで必要な知識を習得しています。業務をしていると専門用語が多くあるので分からないことが毎日のように出てきますが、その都度確認するようにしています。

仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

分からないことや疑問があるときにそのまませず、できるだけ早く解決するように気を付けています。まずは自分で考えたり調べたりして、それでも解決できなければ、先輩に質問しています。



医療課 指導第一係
久松 史奈 (令和6年度 採用)

1 8:30 出勤



おはようございます！
私は、毎日電車で通勤しています。

3 10:00 電話対応



課にかかってきた電話は私が取るようにしています。まだまだ電話の取り方を勉強中です。

2 9:00 決裁確認

他の職員が作成した書類に間違いがないかなどを確認します。



4 12:00 昼食

同期とお弁当を食べることが多いです。
お弁当を食べながら話すことでリラックスしています。

6 15:00 会議

今日は、医療指導部門の会議があります。
各県事務所ともTeamsを利用し、意見交換を行っています。

7 17:15 退庁

まだ残業したことはありません。
いつもこの時間にはお腹が空いているので、早く帰ってご飯を食べたいと思います！

5 13:00 ホームページ編集

本省から送付される通知や事務連絡をホームページに掲載しています。



職員の日【テレワーク勤務】

あなたが担当している仕事はなんですか？

私は主に各県事務所等からの疑義照会の対応や各県事務所等が行う指導監査の支援等の業務を担当しています。本省からの指示を事務所等に伝える機会も多く、事務所等と連携を取りながら業務を進めています。

どんなときに、テレワークを活用していますか？

自宅で集中して作業をしたい時や、研修（eラーニング）を受けたい時などにテレワークを活用しています。通勤時間がなくなるので、朝や仕事終わりの時間を使って用事ができるのもテレワークの利点だと思います。

テレワークを活用して仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

業務時間とそれ以外の時間のオン・オフの切り替えをしっかりと行うことです。オフィスに行くと自然と気持ちの切り替えができますが、自宅でのテレワークも緊張感を持って行うことを心掛けています。



医療課 指導第一係
白石 有里奈 (令和4年度 採用)

1 8:30 テレワーク開始



パソコンを起動して業務開始です。医療課の皆さんにメールを送って今日の予定などを共有します。

3 10:30 定例会議



医療課の定例会議にWEBで参加します。会議では懸案事項の進捗管理や疑義照会の検討を行います。

2 9:00 研修

研修（eラーニング）を受講します。
テレワークなのでヘッドホンをつけて集中して動画を視聴できます。

4 12:00 昼食



お昼休憩です。今日のお昼ご飯はうどんです。
気分転換して午後からも頑張ります！

5 13:30 照会対応

各県事務所等からの疑義照会の回答案を作成します。
画面上で法律等を確認し、回答の根拠を探します。

6 16:30 照会対応



厚生労働省保険局医療課から照会のあった事項について、各県事務所等に確認依頼のメールを送ります。

7 17:15 テレワーク終了

課長にテレワーク報告書を
送付して本日の勤務終了です。
お疲れ様でした！



職員の日【仕事と家庭の両立（育児時間）】

あなたが担当している仕事はなんですか？

保険医療機関が診療報酬点数を算定するために届出する書類の審査や疑義照会の対応をしています。

育休から職場復帰するにあたってどうでしたか？

1人目の育休取得期間中に2人目を出産し、約3年半の育休を取得しました。職場復帰に当たり、3年半のブランク等不安要素が多かったのですが、比較的休みやすく、自由が利く課に配属していただき、復帰後も心配なく仕事ができています。

仕事と家庭を両立する上で工夫していることは何ですか？

いつ子供が体調不良で休むかわからないので、効率よく業務を処理できるよう週の始めに今週の目標、計画を立てて取り組んでいます。また、早めにお迎えが必要な場合にはテレワークを行うことで、移動に係る時間を短縮しています。各種制度が充実しているので、うまく活用することで家庭との両立ができています。



指導監査課 審査係
栗山 佳奈（平成26年度 採用）

利用したことのある制度

- ・特別休暇（妊娠中の健康診断）
- ・産前産後休暇
- ・育児休業
- ・育児時間
- ・テレワーク

2 午前中

1 9:00 出勤

本来であれば8:30に出勤ですが、育児時間を利用し、勤務時間を短縮しています。おかげで、子供たちの保育園への見送りや家事をすることができます。



保険医療機関から届出された書類の審査をします。書類を窓口を持参される方もいらっしゃるのですが、その際の対応も行います。



3 12:00 昼食

同僚とランチに行きます！
美味しいご飯を食べて午後からのやる気に繋がります。

4 午後



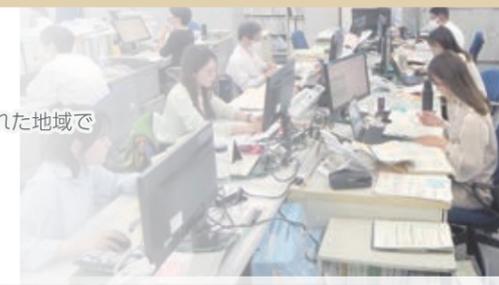
保険医療機関からの疑義照会の回答を作成します。告示通知、参考資料等を読み込み、内容をしっかりと理解した上で回答を作成することがなかなか難しいです。

5 16:45 退庁

業務の終了時間も育児時間を利用し、30分早めに帰宅しています。帰宅後は夕飯作り、お風呂、寝かしつけとバタバタしますが、少し早めに帰宅できるので、その分子供との時間が確保でき、大事な親子の時間になっています。

一年の仕事の流れ【地域包括ケア推進課】

当課の目的は、高齢者の方々が介護を必要とする状態になっても、できる限り住み慣れた地域で自分の望む暮らしができるよう支える仕組みづくりを支援することです。



4月

4～6月

1年間を通し業務をする上での準備にあたる期間です。オンラインで介護保険制度に係る研修を受講したり、厚生労働省での現地研修で他の地方厚生局との仲間づくりの機会もあります。そのほか、制度や補助金関係の問い合わせに対応したり、県庁とのヒアリングを通じて困りごとを聴いたりしています。特に問い合わせに対応する際は、判断に迷う場合も多く、課内のメンバーと入念に協議したうえで回答するようにしています。



7月

7～9月

高齢者福祉に関する補助金の審査・執行業務を行います。具体的には、課内のメンバーと協力し、四国管内の各県から提出された申請書等の内容や記載が適切かどうかを審査します。審査前にはマニュアルを作成し、課内で勉強会を行います。当課の判断によっては補助金の執行に影響することもあるため、担当者に確認をとりながら責任を持って取り組んでいます。



10月

10～12月

四国管内の市町村の中で、特に地域づくりに悩みを抱えている地域に訪問し、市町村支援を行います。具体的には、有識者や県の職員とともに支援に入り、話し合いを通して一緒にその市町村の地域づくりについて考えます。地域づくりでは特に関係者間での「対話」が重要であるため、市町村の思いを尊重し、場づくりを大切にしています。



1月

1～3月

認知症サポーター養成講座やセミナーの開催及びそれに係る準備を行います。具体的には、セミナーの内容検討や会場確保、関係者との調整、当日の開催まで若手職員が主担当となって取り組んでいます。担当として責任はありますが、上司に相談しやすい環境があり、無事にセミナーを終えた時は達成感を感じます。事前準備を綿密に行い、余裕を持ったスケジュールで動けるよう努めています。



一年の仕事の流れ【指導監査課】

指導監査課では、香川県内の医療機関（医科・歯科）や薬局に対して、健康保険法に関する規定等（健康保険証のルールなど）について、正しく運用いただくよう指導監督を行っています。なお、指導監査課と同様な業務を、徳島事務所、愛媛事務所、高知事務所でも行っています。



4月

4～6月

4月から1月にかけて、病院の設備や医療従事者数等を調査確認する適時調査を行っています。香川県内のいろいろな病院へ直接伺っての調査で、月に4病院程度を、看護師の資格を持つ職員と一緒に3名から6名でチームを組んで調査を行っています。

この適時調査での楽しみは、ランチタイムに県内の美味しいうどん屋さんを巡ることです。



7月

7～9月

7月から9月にかけての主な業務として、定例報告があります。香川県内の全ての医療機関（医科・歯科）や薬局から施設設備等に関する報告書を提出いただき、その報告書の内容を確認します。

たくさんの報告書が提出されるので、課員全員で手分けし、協力しながら対応しています。



10月

10～12月

10月から12月にかけて、複数の施術所の柔道整復師等に参集いただき講習会方式で、施術に係る療養費の請求の正しいルールの説明を行う集団指導を行います。

多くの柔道整復師等の前での説明ですので、慣れるまでは緊張するかもしれませんね。



1月

1～3月

5月から1月にかけて、健康保険法に関する規定等（健康保険証のルールなど）について、医療機関（医科・歯科）や薬局の医師、歯科医師、薬剤師等をお呼びして個別面談方式で指導を行う個別指導等を行っています。指導日の2か月前から、医師等の資格を持つ職員とコンビを組み、打合せを行うなど念入りに準備をしていきます。



医師等の資格を持つ職員と個別指導の打合せ

出向中の職員からのメッセージ

担当している業務

高松市長寿福祉課に出向しており、地域包括ケアシステムの構築に関する業務を行っています。

出向を経験しての感想

地域包括ケアシステムにおいて、自治体は、地域包括ケアシステムを構築する中心的な役割を担い、目の前の市民に対するサービスの提供を行っています。私が所属している課では、実際に高齢者から相談を受けることも多く、一人一人の市民に対する適切な支援が求められます。市民との距離が近く、関係団体とのやり取りも多いため、より地域包括ケアシステムの構築に携わっていると実感することができます。

就職活動中の皆さんへ

四国厚生支局は、様々な経験をさせてもらえる職場です。やりたいことがあれば、色々チャレンジしてみてください。

担当している業務

地方厚生(支)局の医療指導部門が活動するための予算要求、国会対応における連絡調整をしています。

出向を経験しての感想

私が出向を希望した理由は、本省と厚生局の業務の関わりに興味があったからです。医療指導監査室は各局の医療指導部門からの照会等が寄せられ、照会等に対して助言等を行っています。対応する事案の種類も豊富で非常に勉強になります。担当業務に加えて、様々なプロジェクトチームでの活動もあり、慌ただしくも充実した日々を送っています。

就職活動中の皆さんへ

試験対策等で大変多忙かと思いますが、いつか皆さんとお会いできる日が来ることを楽しみにしています。



令和2年度採用

高松市役所 長寿福祉課
地域包括ケア推進係 主事
山内 七海

令和3年度採用

保険局医療課医療指導監査室
指導監査係
大矢根 哲也

自分を活かせる
それぞれの場所で
活躍中

令和3年度採用

大臣官房地方課
地方厚生局管理室経理係
辻本 有輝

令和4年度採用

社会・援護局保護課
審査係・訟務係
西山 萌花

担当している業務

厚生局の公共調達に関する業務や厚生局への作業依頼のとりまとめ等を行っています。

出向を経験しての感想

私が働いている地方厚生局管理室での業務は、厚生局の業務に直結したものですので、厚生局へ帰任した後につながる経験を積んでいると感じます。聞き慣れない言葉や判断に迷う事柄も多いですが、周囲の手厚いサポートのおかげで、安心して業務を行うことができます。他の厚生局からの出向者もいらっしゃるの、積極的に意見交換をしていきたいと思っています。

就職活動中の皆さんへ

厚生行政は、注目度が高く、その分やりがいも大きい仕事です。ぜひ説明会に参加してみてください。

担当している業務

生活保護に関する再審査請求関係業務(裁決書の作成等)・訴訟関係業務(裁判所へ提出する書面の準備等)

出向を経験しての感想

本省ならではの規模の大きな仕事に携わってみたいと考え、出向を希望しました。どうしても退庁時間が遅くなってしまいう日もありますが、休日はいろいろなところに出かけてリフレッシュし、平日と休日のメリハリをつけて過ごしています。まだ出向して間もないですが、今後、国会関係業務などの厚生局では経験できない業務に積極的に携わってみたいのです。

就職活動中の皆さんへ

みなさまが、じっくり職場を見つけることができるよう願っています。応援しています。

若手職員アンケート



四国厚生支局の仕事に興味を持ったきっかけは？

- 官庁OPENゼミに参加して、業務説明を聞いたことが興味を持ったきっかけです。自分が今まで関わりのない分野の仕事であったことが、興味を持つきっかけになりました。
- 採用パンフレットを見た際、他の機関に比べ、厚生行政は私たちの生活に非常に身近であり一番興味深い分野だったことがきっかけ。
- 元々医療に関わる仕事に興味を持っており、説明会に参加したことがきっかけで四国厚生支局に興味を持ちました。
- 元々厚生労働省の業務内容に関心がありましたが、地方で働きたかったため、出先機関である四国厚生支局に興味を持ちました。
- 祖父母が体を悪くした際に、ケアマネージャーをはじめ地域における多くの人に支えていただいた経験から、福祉など様々な分野で四国という地域を支える四国厚生支局に関心を持つようになりました。
- 業務説明会に参加したことがきっかけです。説明会の中で、四国厚生支局の業務が社会保障制度の適正な運営に寄与していることを知り、支局の業務への興味を深めました。
- 医療、福祉、年金は誰もが必要不可欠なもので、身近に関わるものだから。
- 大学で福祉関係の勉強をしており、「厚生労働省」という言葉が身近にあったからです。さらに、家族の中に医療・福祉系の仕事に就いている人が多く、福祉関係の仕事内容に興味をもちやすい環境だったと思います。
- 祖父が介護を受けているところを見ており、介護や医療分野に興味がありました。
- コロナ禍で厚生労働省の名前を耳にする機会が多く、四国では厚生労働省の業務のどのような内容を行っているか関心を持ったのがきっかけです。
- 祖父が認知症を患ったことをきっかけに医療や福祉の分野に興味を持ちました。
- 大学で社会保障のゼミに入っており、医療や福祉の分野に興味がありました。業務説明会に参加して、大学で学んだことを活かすことのできる仕事だと思い、入局したいと思うようになりました。
- 家族が医療機関を頻繁に利用する環境にあり、生活の中で医療や福祉を身近に感じ、「仕事」として関わりたいと考えるようになりました。

四国厚生支局を選んだ決め手は？

- 業務説明会での職員の雰囲気が温かかったこと。生活するうえで身近な分野を扱っており、仕事だけでなく日常生活でも役に立つと思ったこと。
- 業務を通して国民の生活を縁の下から支えることができると思ったからです。転勤で県庁所在地以外に行くことがないためです。
- 業務説明会に参加した際に支局の業務について知り、年金や医療といった、生活に必要な不可欠な分野で、国民生活をサポートできる業務内容に魅力を感じました。業務説明会の雰囲気が良かったことも決め手の1つです。
- 転勤が少ないこと、雰囲気が良かったこと
- まず就職活動において話を伺ったり、調べる中で、より四国厚生支局があらゆる面で地域を支える重要な役割を担っていると理解したことが決め手となりました。その一方で、福利厚生充実という面も大きな決め手となりました。
- 官庁OPENゼミに参加した時の職員の雰囲気が良かったことが、四国厚生支局を選んだ決め手になりました。職員同士が年齢に関係なく気さくに話している姿が、非常に好印象でした。

- 説明会の雰囲気が和やかだったことと、上司と係員級(新人くらい)の職員が分け隔てなく、楽しそうにお話されていることが印象的だったからです。風通しがよさそうで自分に合っていると感じました。
- 業務説明会に参加した際、職員同士が年齢関係なく活発にお話されているところを目にし、雰囲気がよさそうだと感じたからです。
- 最終的には、採用を担当されていた職員の人柄や、職場見学に行った際の雰囲気の良さに惹かれました。
- 職場説明会や官庁訪問の際、職員の方や職場の雰囲気が自分に最も合っていると思ったからです。
- 自分の興味のある分野の業務を扱っていること、説明会での職員の方々の雰囲気が良くて、自分もここで働きたいと思ったことが決め手です。
- 自分の就活の軸としてあった「福祉の分野に携わりたい」と「地方で働きたい」という希望が叶う職場だったことが決め手です。また、個別説明会で職員の方々の雰囲気を見て、より四国厚生支局で働きたいという気持ちが強まりました。
- 業務説明会に参加した際に、職場の雰囲気が自分に合っていると感じました。また、医療や福祉に関する行政に携わりたいと思ったことも入局の決め手です。

学生の頃にやっておいてよかったことは？

- 旅行は特に学生の頃にやっておいてよかったと思います。学生時代の思い出として、強く心に残るのではないかと思います。
- 部活です。私は大学生の時に美術部に所属していました。みんなと協力して展覧会の準備をしたり、文化祭で舞台をやったりと楽しい思い出がたくさんできました。
- アルバイト、サークル活動、海外旅行など、社会人になるとなかなかできないようなこと。また、自分で生きる力を養うための一人暮らし。
- 多様な人と関わり、様々なことに興味を持ち、自分の視野を少しでも広げておくことです。
- 法学部だったので、講義で法律や省令等に触れる機会が多かったため、入局後、法律の条文を読んで内容を理解する作業にあまり抵抗がなかったのは良かったと思います。
- 接客業のアルバイトは今の業務内容とは全く異なりますが、コミュニケーション力やマルチタスクをこなすという点で今の業務にも少なからず活かしているような気がします。
- やっておいでよかったことよりもやらなかったことで後悔したことがたくさんありますのでのびるなことに挑戦してみてください。
- 旅行に行くことです。学割が使えらうちに様々なことを体験しておいた方がいいと思います。
- 秘書検定を受験するための勉強をしたことで一般的なビジネスマナーを身に付けることができ、良かった。
- 友人みんなばらばらな場所に就職したので、会う機会が本当に減りました。友人とたくさん遊んだり旅行に行ったりして思い出を作っておいてよかったと思います。
- 車の運転は学生の頃にやっておいてよかったです。出張に行く際は、公用車を利用することが多いので、仕事の上で役に立ちました。
- アルバイトです。職場の人とのかかわり方や社会人の基本のマナー等を学べました。

職場の雰囲気を教えてください

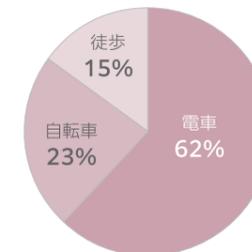
- 入局の決め手となった「職場の風通しがよさそう」という印象のままで、どんなことでも話せる雰囲気です。仕事のことだけでなく趣味のことについても話してしまふ。和やかな職場です。
- 年齢に関係なく職員同士が話しやすい明るい雰囲気であると思います。業務を進める上で、わからないことがあっても、先輩や上司に聞きやすいです。
- 分からないことがあっても課のみんなが寄り添ってくれるとても暖かい職場。
- 和やかな雰囲気と優しい職員の方が多い職場です。また、困ったことや分からないことがあれば周りの方に気軽に相談できるので、安心して仕事に取り組んでいます。
- メリハリのある職場であると思います。業務中は業務に集中する一方、業務時間外は各自の趣味を話し合うなど楽しい雰囲気が流れています。また、上司や先輩にも気さくに声をかけていただき、様々な話題をいつも話しています。
- アットホームで仕事の相談しやすい環境
- 明るい雰囲気と、わからないことがあっても先輩方が一から丁寧に説明してくださるので安心して働ける職場だと思います。

- 上司はちょっとしたことで相談しやすいです。ミスしたときも、解決策を親身に考えてくださいました。
- 気さくで優しい方が多いので、穏やかな雰囲気の職場だと思います。業務中に分からないことがあっても質問しやすい雰囲気なので働きやすいと思います。
- 分からないことがあれば相談しやすい環境にあると思います。休暇も取りやすく、働くときは働く、休む時は休むといったようなオンとオフの切り替えがしっかりしている印象です。
- 真面目な性格の人が多く、仕事に真摯に向き合っている人が多いです。
- 明るい雰囲気の職場です。困ったことや調べても分からないことがあったときは上司や先輩方に相談させていただくことも多く、安心して仕事をする事ができていると感じます。
- 分からない時には的確な助言をいただける良い職場だと思います。質問をせずとも、先輩方は部下の業務についてしっかりと把握されており、一人で仕事をしているという感覚はありません。

【通勤時間はどのくらいですか？】



【通勤手段は？】



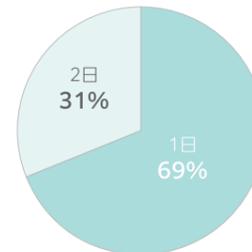
【平均退庁時間は？】 (余裕のある時期)



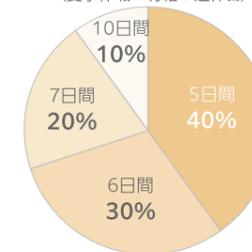
コメント

- ▶ 基本的にはいつも定時で帰宅しています。
- ▶ 「定時だから帰ろう」という雰囲気が課内にあると思います。
- ▶ 上司・先輩となる職員が率先して定時退庁していますので、帰りやすい雰囲気だと思います。

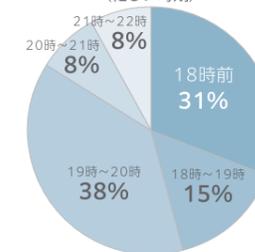
【月平均で何日休暇を取られていますか？】



【夏休みは連続何日とられましたか？】 (夏季休暇+有給+週休日)



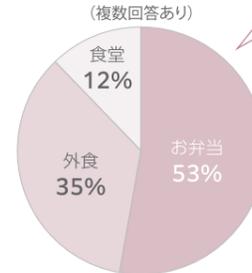
【平均退庁時間は？】 (忙しい時期)



コメント

- 【年金部門】
- ▶ 8月～9月は業務の繁忙期になるので残業することもあります。それ以外の時期は基本的に定時で退庁できます。
- 【医療指導部門】
- ▶ 繁忙期(診療報酬改定に係る書類の提出時期等)は退庁時間がどうしても遅くなりますが、そうでなければ定時で退庁できることが多いので安心してください。
- ▶ 繁忙期は2年に1回の診療報酬改定時で、ピークが1ヶ月くらいあると思います。それ以外だとほとんど定時退庁です。
- ▶ 診療報酬改定作業が立て込んでいる時など繁忙期は遅くなることもありますが、基本的に定時で退庁しています。
- ▶ 入局してまもないですが、今のところ残業したことはないです。
- 【健康福祉部門】
- ▶ 基本は定時退庁で、稀に1～2時間残業することがあるそうです。
- 【総務部門】
- ▶ 業務によっては繁忙期もありますが、基本的には無いと思っていただいてもいいです。
- ▶ 4月は出納整理期間と言って、新旧年度の支払等を処理する必要があり、会計担当者が一番の繁忙期になります。
- ▶ 20時以降(16%)は総務課です。総務課は決算時期と人事異動の時期(2～5月)が繁忙期です。

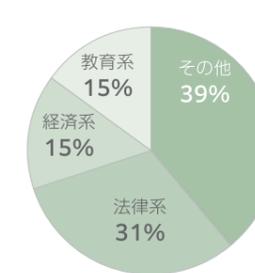
【お昼はどうしてますか？】 (複数回答あり)



コメント

- ▶ 自席でお弁当
- ▶ 同期と一緒にお弁当
- ▶ 近くのうどん屋やすき家に行っています。時々、合同庁舎の職員食堂も利用しています。
- ▶ 同僚とご飯を食べたり、他局も近いので他局の人ともご飯を食べたりしています。Youtubeも見ることもあります。
- ▶ 同期とお弁当を食べたり、先輩を誘ってランチに行ったりします。高松駅周辺は色々なお店があり、便利です。
- ▶ 主に合同庁舎1階の食堂で食べています。
- ▶ 弁当を持参して食べています。たまに近くの飲食店で食べます。
- ▶ コンビニで済ませることが多いです。

【出身学部は？】



コメント

- ▶ その他は文学部や経営学部などで、色々な学部出身の方がいます。



入局前後のギャップについて

入局前	入局後
ルーティンワークが多いと思っていた。	▶ 事務的な仕事だけでなく対人業務やクリエイティブな仕事もあったりと思っていた以上に様々な経験ができる。
ルーティンワークが多そう	▶ 臨機応変な対応が求められる仕事が多い
法律など仕事内容が難しそうで、ついていけるか不安。	▶ 近くの先輩や上司に質問しやすい雰囲気、安心!
公務員ということもあり、どちらかと言うと、堅い人の方が多そう。	▶ とても話やすく、やわらかい人が多い。
たまに出張がありそう。	▶ 課によっては、ほとんどデスクワーク。
残業が多かったり、休みがとりづらかったりするのではないかな。	▶ ほとんど定時で退庁でき、休みも取りやすかった。
専門的な知識がそこまでなくても大丈夫だと思っていました	▶ 法令や制度を理解して業務を進めることが重要だと感じています
デスクワーク中心の仕事であると思っていました。	▶ 部署にもよりますが、出張も多く、外で仕事をする機会が多いことにギャップを感じました。
パソコン業務をひたすらこなすイメージがありました。	▶ 医療機関からのお問い合わせの電話も多く、日々刺激を感じながら仕事できています。
人が多そう。	▶ 想像していたより職員の数が少ないなと感じました。アットホームで良い雰囲気だと思います。
毎週残業をしないと業務が終わらない忙しそうなおイメージがありました。	▶ 年次休暇だけでなく、時間休暇を1時間単位で取得することができ、忙しくない時期は自分の生活に合わせて休みを取得できることがいい意味でのギャップです。
和気あいあいとしていて、働きやすそう	▶ 思っていた通り、職場の雰囲気が明るい!

これまでの経験の中で、やりがいを感じたことはなんですか？

- 入局して1年目に補助金業務を担当することとなり、事務処理誤りが起こらないよう慎重に業務に取り組み、無事に補助金を市町村へ交付できた際には大きな達成感を感じました。
- 補助金交付の決裁業務にやりがいを感じました。支援に必要な補助金ということもあり、大きな責任がある一方で、欠かすことのできない業務に携わっているという充実感もありました。
- 保険年金課に所属していた時に、管轄の健康保険組合を対象とした講習会の講師を務めたことです。やり切るのが大変な業務であったため、やり切った時はやりがいを感じました。
- 小さなことですが、電話対応がとても不安だったので、初めて本省と電話でやり取りができたときは嬉しかったです。
- 養成施設等で指導調査を行ったことです。養成課程の大学に通っていたのですが、学生の時は様々な多くの法令に則り大学が運営されているとは知りませんでした。学生の学びのために大切な業務だと思いました。
- 支援を行った自治体から前向きな言葉や感謝の言葉を頂けたこと。
- セミナーの主担当を任された際、案内、会場確保、講演者等との連絡調整、会場設営など、責任をもってやり遂げ、無事にセミナーを開催できたこと。
- 年金管理課にいたときに年金委員の大臣表彰に参加して、年金委員として活動している人々を実際に見て、自分がしている年金委員の委嘱等の業務が大切な仕事だと感じました。
- 赴任旅費(職員の引越時代)について、数か月の間に上司とあれこれ相談しながら支給を完了できた時は達成感がありました。
- 電話にうまく対応できたときには達成感を感じました。まだまだうまくいかないことの方が多いですが、これからも頑張ります。
- 出張、会議の計画から終了まで一人でやらないといけないのが大変でしたが、他3事務所の課長と連携を取りながら進めていくことでやりがいを感じました。
- 医療機関から届出に関するお問い合わせの電話を受けて、関連法規の場所等も伝えながら書き方や期限を説明することで、先方に納得いただけたことです。
- 課内会議で自分が考えた疑義照会の回答案を根拠を基にしっかりと説明できた時です。課の一員として成長できていると思い、やりがいを感じました。

これからどんなことにチャレンジしてみたいですか？

- 主担当を任される業務において、より積極的に関係者と密に連携し、充実したものを作り上げられるよう努めたい。
- 仕事面では、まずは目の前の業務を1つ1つこなし、経験や知識を積むことに集中することを第一目標としています。その一方で仕事以外では、お金を貯めて車を買ったり、アメリカにバスケットボールを観に行きたいと思っています。
- 今は、日々の業務で何をするかを毎回先輩に確認してから作業していますが、一人で仕事内容を判断して動けるようになりたいです。
- 平日の時間の有効活用ができるようになりたいです。定時で帰宅しているので、平日も自由に使える時間が結構あります。家に帰ってダラダラするだけでなく、自分磨きの時間にできたらいいなと思います。
- 医療部門でのステップアップ
- 自分が担当する業務を効率よく行えるよう、改善していきたいと思っています。そうすることで、後任の職員の働きやすさにつなげられたらと思っています。
- 年金・福祉・医療それぞれの分野に詳しくなり、本省出向などを通じてより広い視野を持って仕事をしていきたい。
- 補助金の執行担当なので、実施要綱や通知等をしっかり勉強して管内県からの疑義照会に対応できるようになりたいです。
- 業務をより効率的に遂行するためのマクロやVBAを開発できるようになるために、Excelの勉強を頑張っていきたいと思っています。
- 現在は庁舎内で届出書の審査を担当しておりますが、今後は医療機関へ赴いて基準を満たしているか確認する適時調査に行ってみたいです。
- 今まであまり他の厚生局の人たちと関わったことがないので、これからは、研修等で他の厚生局の人たちとも関わることで業務の効率化をするためにどのようなことを行っているか知りたいと思っています。
- まだ医療指導部門の仕事しか経験したことがないので、違う部門の仕事にもチャレンジして、たくさん経験を積んでいきたいと思っています。
- 医療の分野に携わってみたいです。

就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

- 幅広く情報収集し、自分が一番ワクワクする仕事や職場を見つけていただけたらと思います。応援しています。
- 妥協せず、可能な限り多くの採用説明会に参加して、自分に合う職場を探るのが一番大事だと思いますし、その中で四国厚生支局を選んでいただけると嬉しいです。どんな結果になっても後悔のないよう頑張ってください。
- 勉強も大切ですが、勉強だけでなく、自己分析や自分の人生設計についてもどう生きたいかについて考えたり、仕事をしている自分のイメージをしたりするのいいと思います。
- 私が就職活動を経て一番大事だと思ったのは「行動力」と「チャレンジ」です。色々な場に足を運んだり今までやったことのないことに挑戦したりなど、アクションを起こすことで新たな発見や選択肢に出会えると思います。
- 四国厚生支局では、やりがいを持ちつつ働きながら、プライベートも充実させることができます。就職活動とても大変だと思いますが、最後まで頑張ってください。四国厚生支局でお待ちしております!
- 就職活動中はとにかく大変かと思いますが、悔いのないようチャレンジし、妥協せず全力で取り組んでください。決まった後は学生生活等を全力で楽しんでください。
- 就職活動は、自分が思い描いているように進むとは限りません。かくいう私がそうでした。ですので、筆記試験、面接の対策等の事前の準備は徹底的に行うようにしてください。皆さんの就職活動が良いものとなることを願っております。悔いの残らないよう頑張ってください。
- 説明会に参加して実際に雰囲気を感じるとパンフレットでみるのとは違った印象を受けることもあると思います。様々な説明会に参加してみて、自分のやりたいことが見つかることを祈っています。将来、一緒に働くことになればその時はよろしくをお願いします。
- いい意味で入局後にあまりギャップを感じなかったため、採用イベント等を通じて興味を持たれた方にはぜひいっしょに働きたいです。
- どんな仕事をやりたいかという気持ちも大切ですが、対人関係の仕事なので、いろんなところを回って自分に合う雰囲気のところと出会えたらと思います。
- 週5日、毎日自分が働き続ける姿を具体的にイメージしてみて、本当に続けていきたい仕事と考えるかどうかしっかりと考えて就活されるのいいかと思います。
- 仕事内容、働く場所、関わる人、ワークライフバランス等、自分が何を一番大事にしたいのかよく考え、最後まで妥協せず取り組むことが結果につながると思います。一緒に働ける日を楽しみにしています。
- 広い視野と柔軟な考えを持って自分に合う仕事を探してください。就職活動は大変なことや辛いことがたくさんあると思いますが、息抜きも忘れず、頑張ってください!



超過勤務縮減

週2回の一斉定時退庁日（水・金）の呼びかけの他、事前承認制を導入し監督者と職員間でその日にやり遂げるべき真に必要な業務かどうかすり合わせをします。さらに人事評価の目標に超過勤務時間の縮減を掲げ、職員の意識改革を図っています。

妊産婦及び育児・介護を行う職員への配慮

子どもが生まれた全ての職員に対し、職員ひとりひとりの状況に応じて、産前・産後休暇や配偶者出産休暇、育児休業、育児時間、介護休暇などの職員が利用できる休暇や休業等の制度案内や利用勧奨をしています。

柔軟な働き方

育児や介護など配慮を要する職員をはじめとした希望する全職員がテレワーク及びフレックスタイム制度を利用することができます。四国厚生支局では若手職員も積極的に制度を利用しています。



育児
休暇

医療課 指導第一係
横井 菜穂（平成29年度採用）

利用したことのある制度

- ・特別休暇（妊娠中の健康診断）
- ・産前産後休暇
- ・育児休業

私は、2023年の春に出産し、現在は2年間の育児休業中です。

妊娠中は初期からつわりに悩まされ、業務をこなせるのか不安な毎日でしたが、上司や周りの方々から、業務の進捗状況の確認や、急な休みの対応など配慮いただき、無理なく働くことができました。また同僚への引継ぎなど、育児休業を取得するための準備にも協力いただいたので、安心して育児休業に入ることができました。

育児は思い通りにならず大変なことも多いですが、子どもと過ごす時間はかけがえのないもので、日々幸せを感じています。

仕事と育児の両立が行えるように、様々な支援制度が充実しているだけでなく、支援制度の活用に理解を得やすい職場だと思います。

そのため、仕事と育児の両立に不安を感じることなく復職できそうです。

採用 Q&A

採用実績は？

採用年次	人数
R2	4人
R3	6人
R4	4人
R5	3人
R6	3人

人事異動時に個人の希望は反映されますか？

人事異動は通常2～3年毎に行われ担当業務が変わります。地方厚生（支）局では、毎年、本人の希望や配慮すべき事情を意向調査により確認しています。異動は必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、能力や適性、諸般の事情を勘案して適材適所となるよう総合的に判断して行われます。

転居を伴う異動は？

本局（香川県）内のほか、徳島県、愛媛県、高知県にそれぞれ事務所がありますので、転居を伴う異動もあります。また、厚生労働省等への異動もあります。しかし、「自分の子どもがまだ小さい人」や「親の介護をしているので遠くには行けない人」等、職員の事情も踏まえ人事異動を行っています。

勤務時間や残業、休暇について教えてください。

原則8時30分から17時15分までの7時間45分の勤務です。担当業務や時期によって残業はありますが、上司などに遠慮して帰りにくいという雰囲気はありません。休暇についても、大型連休やお盆、年末年始などは有給休暇を取得して休暇をつなげるよう推奨しています。

研修制度について教えてください。

4月の入局後、すぐに厚生労働本省や人事院、当支局が実施する新規採用職員研修があります。国家公務員として必要な知識を習得できるほか、業務やキャリアに合わせた研修に参加できる機会も設けられており、スキルアップを目指すことが可能です。

公務員試験の順位や年齢は、採用に影響しますか？

影響はありません。採用（官庁訪問）にあたっては人物重視の面談を実施しています。また、民間企業経験の有無や出身校、学部も採否に影響はありません。既卒者の方も歓迎です。

四国厚生支局
ホームページ



四国厚生支局

検索

<http://kouseikyoku.mhlw.go.jp/shikoku/>